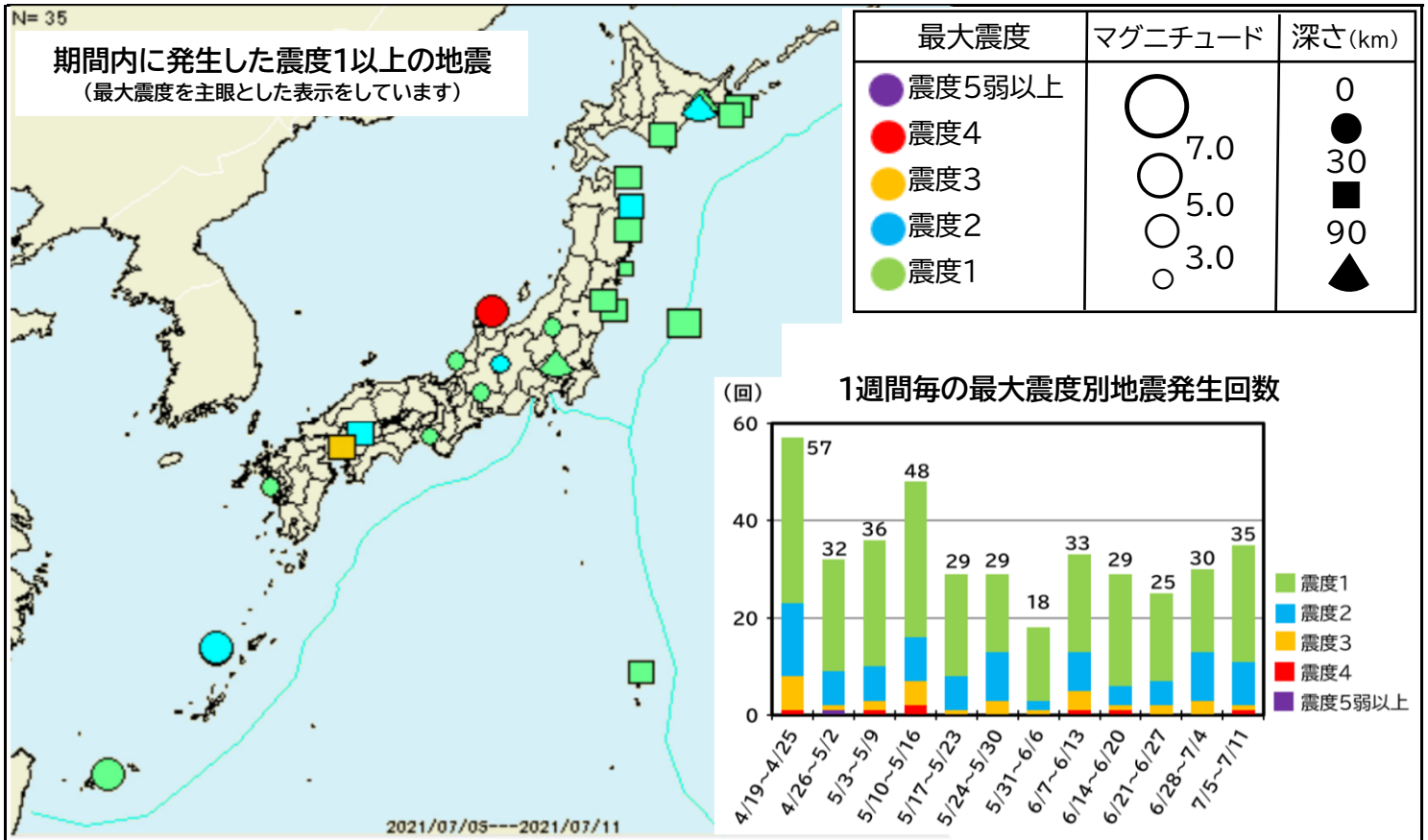


この期間の最大震度は4

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)

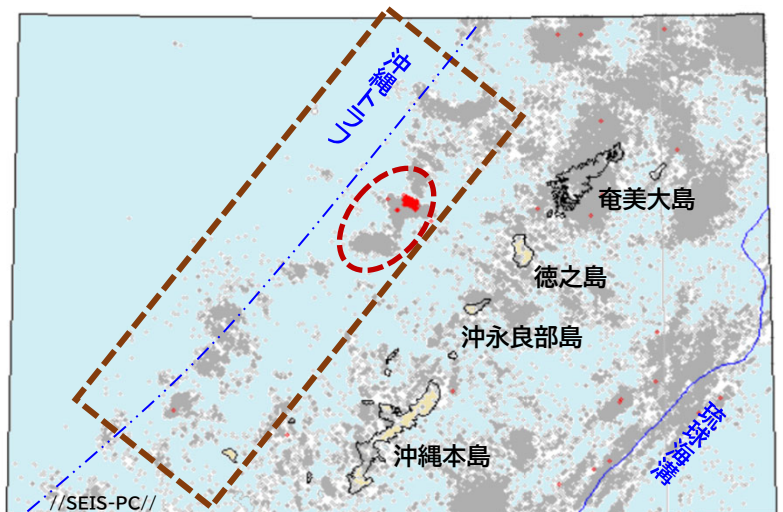


主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が35回発生。最大震度は4(石川県能登地方)
- 8日01時24分に伊予灘で発生した地震(M4.3、深さ50km)により、愛媛県宇和島市・久万高原町、山口県柳井市・田布施町・平生町・周防大島町で震度3を観測したほか、四国地方・中国地方・九州地方北東部で震度2~1を観測。この地震はフィリピン海プレートの沈み込みに伴う逆断層型。
- 11日09時16分に石川県能登地方で発生した地震(M4.0、深さ10km:速報値)により、石川県珠洲市で震度4を観測したほか、石川県、富山県で震度3~1を観測。この地震は地殻内で発生した逆断層型の地震。この付近では、6月3日と6月26日に最大震度3の地震が発生している(No.80参照↓)。
http://www.npo-cemi.com/earthquake/no080_20210607.pdf

トピックス

- 奄美大島北西沖の地震活動
- 7月4日から奄美大島北西沖を震源とする震度1以上を観測した地震が9回発生した。最大Mは4.8、最大震度は2で、これらは陸のプレート(ユーラシアプレート)内で発生した横ずれ断層型。
- 奄美大島北西沖で発生する地震は、奄美大島の南東沖に位置する琉球海溝でユーラシアプレートの下にフィリピン海プレートが沈み込むことによって、伸張しつつある「沖縄トラフ」と呼ばれる周囲に比べて低くなっている地形の周辺で発生している(図参照)。
- 奄美大島北西沖の沖縄トラフ沿いの1997年10月以降の活動(図の四角破線内)を見ると、いくつかの局所的な地震群が列をなして分布しており、M6.0以上の地震が5回発生している。また、数年間隔で地震活動が活発となる傾向が見られる。
- 今回の震央付近(図の楕円破線内)で1997年10月以降に発生した最大規模の地震は、2009年9月29日に発生したM6.1の地震(最大震度3)。



震央分布図
1997/10/1~2021/7/11 M2.0以上 深さ60km以浅
赤色:2021/7/1以降に発生した地震
灰色:赤色以前に発生した地震